「小河内」便り　第３４号　平成２７年３月

特定非営利活動法人　小河内Ｏプロジェクト（理事長　渡辺眞作）

連絡所　〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内４５７９－３
安佐小河内集会所
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　０８２－８３５－０８３１
ホームページＵＲＬ　http://ogauchi.web.fc2.com/

漸く春になったか、と思っていたら、今度（３月１０日）は雪が降り冬に逆戻り、かと思っていたら、翌日は太陽が出て温かくなります。この時期は気候が安定せず、「三寒四温」と言われ、冬と春が行ったり戻ったりします。
寒さ暑さも彼岸まで、まさにそうですね。もうすぐ彼岸、春は近くに来ています。
真冬の寒さに耐えた草木や生き物はしたたか。枯れていたと思っていた草の草刈に、死んでいたと思っていた害虫に、温かくなれば悩まされる。しかし、これもこの地球を住処に私たちと運命を共にする「いのち」と思えば愛しい。昨年、この時期、畑ごしらえ（土起こし）をしていたら土の中から、冬眠を邪魔するな、とカエルが数匹出てきたのを思い出し、今年は１匹も出てこなかったことが気になっている。カエルがいないことは餌となる生き物がいない、ということか、食物連鎖が断ち切られたことだろうか、と罪悪感を覚える。自然界の人知に及ばない大きな力にもっと謙虚に耳を傾けよ、とカエルは警告しているのでは。環境や農地、農業が持つ意味「いのち」の繋がりにもっと思いを寄せなければ、と思いを巡らしているこの頃です。
お元気ですか。２月ぶりに小河内の情報をお送りします。

目　　次

炭焼体験ツーリズム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
「弥太郎君」ホームセンター「ジュンテンドー」で新規販売・・・・Ｐ２
「田舎暮らし塾」設立（準備中）・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
小河内情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
① 寿永会新年互礼会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
② 小河内を考える会　「ワークショップ」・・・・・・・・・・・・Ｐ３
③ 小河内小学校閉校式、記念行事、懇親会・・・・・・・・・・・Ｐ４
④ 共同募金テーマ募金について・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４
⑤ 小河内の標高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
⑥ ６月までの主な日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
集落の現況②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６

炭焼き体験ツーリズム

２月２８日（土）恒例の炭焼き体験を行い、都市部から１３人が参加した。
アンケートによると、殆どの人が始めて小河内に来た、炭焼き窯を見た、全員が満足したと回答した。この模様を RCC テレビが取材、又安田女子大家政学部教授、準教授、ゼミの学生も見学、炭焼きの技、ヒト、文化が残っている小河内の宝である。

窯の中をのぞき込む参加者を撮影する RCC カメラ

炭焼き窯の全景

「弥太郎君」をホームセンター「ジュンテンドー」で新規販売

３月より中国地方をメーンに販売店舗を持つホームセンター「ジュンテンドー」の３２店舗が弥太郎君（４４０袋）を販売することになった。これからバーベキューシーズン、商品を見て、そして買っていただくと小河内に元気が出ます。尚、ホームセンター「ナフコ」でも販売しているので、こちらもよろしくお願い致します。

「田舎暮らし塾」設立（準備中）

小河内で住民と一緒に、農村ビジネス起業やまちづくりに携わり、移住を希望する人（塾生）を３０人募集、小河内の空き家（活動拠点）をベースに活動する「田舎暮らし塾」設立を計画、準備を進めている。２月理事会に諮り、承認されたが、６月２１日開催の総会で可決後、７月から正式にスタート予定。今まで都市住民を呼び、農業体験、柿もぎ、門松づくり、炭焼き等多くの体験型ツーリズムを行って、一時的な賑わいはあったが、目に見える効果はなく、一過性に終わっていた。又、このまま継続すれば、スタッフも年々歳をとり息切れも予想される。当法人の目的である雇用創出や所得、Ｕターン、Ｉターンによる小河内の活性化、という原点に立ち、今までの反省から、塾生は小河内に軸足を置き、特産品開発やイベントの企画、運営、地域行事への参加、ワークショップ等で住民と交流し、都市から農村へ人の流れ、関心を寄せる仕組み、仕掛けで「小河内を変えるぞ」という強い志と気概、情熱、行動力、ある程度の専門性をもった人材「志」を持つ**「志塾」**にしたい、そんな思いで塾設立に至った。

小河内情報

①寿永会新年互礼会（連合寿永会）

１月２７日（火）小河内集会所で恒例の寿永会連合会新年互礼会が行われ、会員約５０名が参加、式典、会員の橋本忠教氏の藍綬褒章受章の披露、増野岩登氏のお祝いの詩吟や大正琴同好会員が演じる琴の音に聞き入り、甘酒で乾杯。その後、室内でグラウンドゴルフ、ホールインワンが出る度に歓声，楽しい１日を過ごした。高齢者は外に出ることが億劫になりがちであるが、外に出れば、自然の動きに感動、人に会う、話す、情報が交換される、これが元気さに繋がる。**教養**（今日用事がある）と**教育**（今日行く用事、所がある）が大事である。日本の平均寿命は男性７９歳、女性は８６歳だそうであるが、健康寿命は７４・５歳だとか。心身共に、自分のことは自分でできる、この「健康寿命」が一番幸せである。Ｇ・Ｎ・Ｐ（元気で・長生き・ピンピン）が一番。
寿永会は小河内の高齢者の会、皆な気心の知れた旧知の仲、是非入会、参加して元気で楽しい人生を送りましょう。

②小河内を考える会、ワークショップ（自治会連合会）

高齢、過疎化が著しい小河内をどう元気にするか住民が参加する「小河内を考える会」のワークショップが昨年１２月に続き、１月２５日、小河内集会所で行われ、地区住民２１名参加、安佐北区農林課２名、地域起こし推進課１名、安田女子大３名、サクラブリッジ４名、計３１名が出席して行われた。昨年の第１回に出された、小河内の長所、短所、どうしたら良いか、などについて、５ブループに別れ自由に意見やアイデアをベースに、今回（第２回目）は、項目ごとに、それを実現するために，どうすれば良いか、何をすれば良いか、誰がするかテーマを絞り、議論した。
参加した住民から、小河内への熱い思いとアイデアが寄せられ、小河内が元気になる息吹を感じた。３月の会合（３回目）で、これまでの意見やアイデアを集約、プランや方向づけがまとめられる予定である。

１グループ５～６人がテーマについて話しあう

最後はグループの意見など纏め、発表

③小河内小学校閉校式、記念行事、懇親会

明治７年創立、明治、大正、昭和、平成と４代１４０年間、小河内の初等教育を担ってきた小河内小学校がいよいよ今年３月３１日をもって幕を閉じる。感無量。
３月２０日、最後の卒業式が行われ３人が巣立つ。４月からは３人の在校生と新１年生になる１人が飯室小学校に通う。２２日（日）閉校式（教育委員会主催)、閉校記念行事（小学校主催)、閉校記念懇親会（地域主催）が行われ、最後の別れを惜しむ。
小河内小学校ありがとう！　教職員の皆様、ありがとうございました。
小河内小学校で学んだ子供たちに万感の思いを込めてエールを送ります。

最後の在校生６人、向かって右３人が今春卒業する

間もなく閉校になる小河内小学校

④共同募金、地域テーマ募金について

小河内小学校の閉校を機に元気な小河内を創生、新しいまちづくりを目指して、郷土意識と地域コミュニティ維持、閉校記念誌の発行等の財源として、広島県共同募金会が行う、地域テーマ募金を申請、認可され、募金を開始しました。この制度は、一定の申請額までは募金額と同額が県共同募金会から寄付されるという特典がある。例えば募金額５０万円だと同額（５０万円）が県共同募金会から寄付され、１００万円になる。
申請額を超過分については、県共同募金会からの寄付はない。
この制度を使用した募金を小河内住民や卒業生、出身者、関係者等に広く呼びかけ、お願いしたところ、次のご寄付をいただきました。「小河内弥太郎」さんからもいただいた。「小河内」を思うお気持ちを大切に、有効に活用させて頂きます。尚、ご寄附いただいた方には記念誌（５月発行予定）をお送りさせていただきます。
１月　１６２件、６０８,０００円、２月　１１７件、５２５,０００円
２月までに目標額に達しないので、まだの方は３月３１日までに郵便局でお振込みをお願いします。この募集期間は１月１日～３月３１日に限定されます。
４月１日以降の振込はこの制度による募金は認められせんのでご注意下さい。
尚、振り込み用紙がない場合は、電話かＦＡＸ等で至急お知らせ下さい。
連絡先　岡田　電話、ＦＡＸ（０８２－８３５－１４４４）又は
迫田　電話、ＦＡＸ（０８２－８３５－１１６７）へ

⑤小河内の標高

標高（海面からの高さ）は、気温に影響し、農産物、植物、生き物など生態系に、そして暮らしや文化に影響する。私たちの住んでいる標高を知っておこう。

地点	標高（m）	地点	標高（m）
小浜（小河内駅跡地）	７５・６	小河内集会所	約２６５
小峠集会所	約１６７	小河内小学校	約２９０
万福寺	約１９３	野外活動センター	約４０５
黒瀬（松田宅） （中田宅）	約３５５ 約４０５	楓原（渡辺宅、桜山窯）	約３４０
本郷（郵便局）	約２５０	西部集会所	約３０８
三谷集会所	約２９０	大釘集会所 （一番上の家）	約３５２ 約４０５
横山谷集会所	約３４０	箕越（大升宅）	約３４０
滝山	６９２	牛頭山	６８９

小河内の一番上（大升宅３４０ｍ）と小河内の一番下（小河内駅跡７５・６ｍ）の高低差は約２６４ｍある。

⑥６月までの主な日程

春は年度末、学校の卒業式（小河内小学校最後）各団体等の総会シーズン。
そして農作業、そのイベントが始まる。

月日（曜）	団体	主催
３月２０日（金）	小河内小学校卒業式	小河内小学校
３月２１日（土）	グラウンドゴルフ大会	体協
３月２２日（日）	小河内小学校閉校式、記念行事	教育委員会、小河内小、自治会
３月２９日（日）	女性会総会	女性会
３月３１日（火）	寿永会総会	寿永会
３月３１日（火）	小河内小学校閉校	
４月１８日（土）	各種団体監査	
４月２６日（日）	各種団体総会	自治会、コミ協、社協、青少協体協、公衛協
５月２６日（火）	Ｏプロジェクト理事会	Ｏプロジェクト
５月３１日（火）	ハウス田植え	Ｏプロジェクト
６月７日（日）	どろ落とし祭り	コミュニティ推進協議会
６月１３日（土）	白島商店会ホタル観賞ナイトツアー	Ｏプロジェクト
６月２１日（日）	Ｏプロジェクト総会	Ｏプロジェクト

集落の現況（自治会紹介）②

小河内地区は滝山（６９２ｍ）と牛頭山（６８９ｍ）の２つの高い山に囲まれた急峻な山間に１９の小集落が点在、２４４世、４７９人（平成２６年１０月現在）が暮らしています。第２回目は小河内の入り口（国道１９１号線）小浜集落と農家が点在する下三根集落を取材、両自治会長に現状など聞いた。

（数字は自治会長より聞き取りしたもの）

自治会 （自治会長）	下三根 （岡田孝昭）		小浜 （佐々木英孝）	
	現在	昭和１５年	現在	昭和１５年
自治会加入世帯（地区外、内数）	１１（４）	１７	２０（５）	３６
総人口（現住数）	２１		３５	
６５歳以上（高齢率）	１０（４８％）		２１（６０％）	
一人暮らし世帯	1		3	
空き家（１年以上）	3		4	
現存する廃屋	1		2	

（下三根自治会　岡田孝昭会長）

（小浜自治会　佐々木英孝会長）

高齢者が多く、若者がいない、共通した課題だ。小河内の中で最も交通便の良い小浜でも過疎化（世帯数、人口減、高齢化（６０％）、空き家、廃屋）が進んでいる。

編集後記

春は、別れと出会いの時期、私たちは学校で、職場で、地域活動でこの繰り返しです。３月は別れであるが、４月になれば又新しい出会いがある。会うは別れの始め、というが、人生は出会いと別れ。こうして人は成長し、組織は新陳代謝、活性化する。

我が小河内小学校は３月３１日で長い歴史の幕を閉じる。一大事、ビッグニュース。

地域の小学校が消えることは、単に小学校がなくなるだけではない、子供のころから小河内の空気を吸い、一緒に学び遊んだ友は生涯の友となり、コミュニティ醸成の核となり、町づくりの基盤となる。この土台が崩れることは地域の崩壊になり兼ねない。

しかし、今となってはいつまでも杞憂し、感傷に浸っているわけにはいかない。

小河内は生活上の不便さや不安もあるが、多くの宝（資源）がある。それを求めて既に新しい風が吹いている。生きがいや夢、希望のある小河内を皆で創っていきたい。（Ｓ）